

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
プライマリ・ケア認定薬剤師研修会＋生涯学習委員会共催

「呼吸器疾患のみかた プライマリ・ケアの現場から」

「適切な吸入療法の実践と地域連携」

(大阪 2017 年 10 月 8 日 日曜日)ご案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第 109 分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号 P02)を取得いたしております。】

薬剤師に期待される活動内容と臨床能力は患者さんの疾患により変化します。今回は「呼吸器疾患」を取り上げます。呼吸器疾患での臨床経験の豊富な田原正夫先生に「呼吸器疾患のみかた プライマリ・ケアの現場から」気管支喘息と COPD・睡眠時無呼吸をご講演頂きます。次いで薬剤師に欠かせない吸入指導について平大樹先生ほかに「適切な吸入療法の実践と地域連携」をロールプレイを含めてご講演頂きます。

ジェネラリストとしての総合力が求められる呼吸器疾患に必須の研修です。奮ってご参加ください。

尚、生涯学習委員会との共催ですので、参加の医師にも単位付与があります。

(細則による必須領域:A, B, C, D, E, G, J)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会 + 生涯学習委員会
2	研修開催日	平成 29 年 10 月 8 日(日)
3	研修会場	新大阪丸ビル別館 4階 533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-18-22 案内図 http://marubiru-bekkan.com/access.php
4	認定単位	薬剤師:3 単位 (認定薬剤師単位)、医師:4.5 単位(更新のための医師単位)を付与
5	受講資格	薬剤師、医師、医療職、医療関係者
6	定員	72名(スモールグループ形式)
7	受講申込	締切り:平成 29 年 9 月 27 日(水)午後 5 時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込を受理後、順次ご入金方法についてメールでご案内させていただきます。 ※ 指定期日内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	8,500 円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は 7,000 円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。
10	情報交換会 (先着 30 名)	10 月 8 日(日)16 時 45 分より 会場:ホテル新大阪 琥珀の間 で開催します。希望者は受講申し込み時にお申し込みください。料理+飲み放題で参加費 4,000 円です。
申し込み先 : 日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A 有限会社あゆみコーポレーション内 TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 j pca@a-youme.jp		

プログラム

2017年10月8日(日)

9:45～	受付
10:30～12:00	①「呼吸器疾患のみかた プライマリ・ケアの現場から —気管支喘息について—」 講師:田原 正夫 気管支喘息は近年、アレルギー疾患とともに罹患者数の増加が指摘されている。コントロール不良群では生命に関わる重篤な発作を起こすことがあり日常からの適切な薬剤治療と生活指導が重要である。本講では小児・成人の気管支喘息の診断・治療について概説し、プライマリ・ケアの現場で薬剤師が遭遇する課題やその解決方法、担うことができる役割などに考えてみたい。 (細則による必須領域: A,B,C,D,E)
12:00～12:50	昼食 (各自お取りください)
12:50～14:20	②「呼吸器疾患のみかた プライマリ・ケアの現場から —COPD・睡眠時無呼吸について—」 講師:田原正夫 慢性閉塞性肺疾患(COPD)は息切れや咳痰などによるQOLの低下が問題として取り上げられるが、高齢化に伴い「非がん疾患の終末期ケア」などで取り上げられることも増えている。睡眠時無呼吸症候群は日常生活への影響、他疾患との関連などから関心を集めている。これらの疾患の診断・治療について概説し、診断への手がかり、治療をすすめていく上での関わり方のコツなどについて考えてみたい。 (細則による必須領域: A, B, C, D, E, G, J)
14:30～16:00	③「適切な吸入療法の実践と地域連携」 講師:平 大樹 ほか 吸入療法は喘息や慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器系疾患治療における第一選択となる。しかし、内服するだけで効果が期待できる内服薬とは異なり、患者自身が適切に吸入を行うことで初めて効果を発揮する薬剤である。したがって、患者に対する吸入指導がとても重要な役割を担う。本研修では、吸入指導時の注意点をロールプレイ形式で体験・習得するとともに、吸入指導を通じた医師・薬剤師の連携事例に関する講習を実施する。 (細則による必須領域: A, C, D, J)

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

(敬称略)

田原 正夫 : 岩倉駅前たはらクリニック

平 大樹 : 立命館大学薬学部 助教、滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部 客員助教

瀧川 正邦 : ファースト薬局

大石 和美 : 丸山薬局

ほかにファシリテーター5名を予定